

2017年7月30日 主日礼拝 <洗礼式>

司 会 ①秋葉兄 ②間兄 ③野田兄

奏 楽

祈 禱 ①小林師 ②高木師

賛 美 聖歌480番「輝く日を仰ぐとき」  
(ほめよイエスの御名を)(栄光から栄光へと)

主の祈り

聖 書 ① ヨハネによる福音書15章12～17節 (P167)  
②③ マタイによる福音書16章13～20節 (P26)

音 楽 ① 北島美佐子姉(伴奏:白鳥直美姉)  
②③ 池田宏里兄

証 詞 ①② 広山祐子姉(ナオミ会)

メッセージ ① 「愛に生き実りがある」 久保田豊伝道師  
②③ 「人間であることの歓喜」 坪井永城副牧師

賛 美 「歌いつつ歩まん」(498番・献金)

頌 栄 「それ神は」(700番)アーメン

祝 禱 大川従道牧師

「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。

黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。  
(マタイ十六の十八)」

【大和ニュース】

☆ 受洗おめでとうございます。①安田兄(バルナバ会・佐伯姉の弟君)  
・ 本日、手話、セキュリティ奉仕会、J.plus(青年、学生、ヤンチャ)、役員会あり。

\* 東京カルバリーのオープン礼拝は、本日午後5時より、西新宿のハイアット・リージェンシーホテルの地下「平安」でなされます。子ども集会もあり、特賛は青年会クワイア。説教は大川牧師。お祈り下さり、ご参加下さい。

\* 今週の祈禱会は聖餐式がなされます。①水曜夜、②木曜朝は大川牧師  
③金曜夜は坪井副牧師。

- ・ 4日は「断食祈禱日」。主の十字架の時間帯。金曜9時～15時。短時間でも可。
- ・ 夏のキャンプが近づきました。良き備えのためお祈り願います。
- ・ 渡邊兄ご召天。告別式は1日(火)午後2時。当チャペルにて。
- ・ 執事会は明日31日夜。 \*「ラブソナタ」へのご協力を心から感謝します。

## 石の枕

「マイナスは必ずプラスになる」を本気で信じて、神様を信頼して「感謝！」をし続けると「良いこと」がいっぱい起こる。だけでなく、すべてが良いことに変化する。以下に、迫害の中にいる中国人クリスチャンの証詞を紹介する。

中国内陸部に住む婦人伝道師リベカ先生は、手足の指に進行性の変形があり、足に障がいを持っておられます。「私は障がいを感謝しています。大迫害期にも『障がい者の女性などに何もできやしない』と判断されて、投獄もされず、伝道し続けることができたのですから！」と、「取るに足りない者とされた恵み」を嬉しそうに証詞しておられました。

一日中、祈りながら聖書に向かう。これをリベカ師は何十年も続けていて、用事ができても手早く済ませて、またすぐ聖書の前に戻ります。「これが私のすべてです！」と爽やかに語る、シンプルな生き方でした。

「救われた後の魂は、どのように導かれているのですか？」と質問が出ました。「基本は聖書通読。まずは20から30回は通読するように勧めます」との答えに、私たち日本のクリスチャンはショックを覚えました。

「私たちの教会には、すでに100回以上、70回、60回と聖書完読をしている若い兄弟たちがいます。彼らは、大学教師や大学院を卒業したエリートたちで、聖書知識も豊富なので、バイブルスタディも任せています。（以上は、「中国へのいのちの水計画」ニュースレターからです。）

私は1970年7月31日に、サンフランシスコ独立教会を辞して、任命に従い、座間教会(大和教会の前身)に赴任しました。

あの時の涙の決断、別離が、今日の祝福につながっています。主に委ね切って、前進することは、28才の青年牧師にとって、魂がつぶれるような緊張の連続でしたが、振り返ってみて、言葉に表わせない感激の連続でもありました。

プールが2つもある大型客船でしたが、遊ぶこともできず、くる日もくる日も太平洋の広さに圧倒されつつ、偉大なる創造主に祈り続けました。「主よ！日本のリバイバルのために私たちを用いてください！」。あれから47年。死に至るような病気もしましたが、皆様の祈りに支えられ、今日も燃える心をもって、福音宣教の道に従えることは、大感激です。『神の恵みによって、わたしは今日あるを得ているのです』( I コリント15の10)アーメン。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！  
Aコース:詩篇59篇～77篇 Bコース:使徒行伝28章～ローマ6章